

100万ファンの熱望に
ニュー・アクションの
ヒーロー《ブリット》が
鮮烈な爆音と共に
帰って来た!

殺された男はニセ物だったノ
合衆国政界をゆり動かす
鍵握る男の謎を追って
《炎の男》ブリットは
爆走する

Steve
McQueen
"BULLITT"

★ニュー・プリント
で公開

ブリット

テクニカラー

スチーブ・マックィーン

ジャクリーン・ビセット/ロバート・ボーン/ロバート・デュボール
監督ピーター・イェーツ/製作フィリップ・ダントニ
原作ロバート・L・パイク/撮影ウィリアム・フレイカー
ワーナー・ブラザース映画 From Warner Bros. A Warner Communications Company





スチーブ・マックイーン

ブリティッシュ



■解説

すべてのカー・アクション、刑事アクションはこの作品に始まるといわれる、今さらもう語るまでもない傑作アクション超大作。

坂の町サンフランシスコを舞台に手に汗握る車の追っかけを見せる、サスペンスと迫力に満ちた展開は、スチーブ・マックイーンの個性と魅力が最大限に発揮された彼の代表作と言つて過言ではない。

共演陣は「ナポレオン・ソロ」でおなじみの二枚目スター、ロバート・ポーンと、今やハリウッドきつての人気女優に成長しているが、当時ようやく認められてきていたジャクリン・ビセットが《ブリティッシュ》の恋人役で初々しい美しさを見せている。また「ゴッドファーザー」「組織」「バッチ373」など最近メキメキ頭角を現わしてきている名優ロバート・デュバルが運転手役で出演しているのも見逃せない。他に「ウエスト・サイド物語」のペテラン、サイモン・オークランド、TV界のスター、ドン・ゴードンなど見事な演技陣がひしめいている。

＜ブリティッシュ＞が生んだ最新作

★ワーナー映画所属のサンフランシスコ警察に出現した初代の敏腕刑事がこの《ブリティッシュ》刑事だが、その後2代目は銃撃戦にめっぽう強いおなじみの《ダーティハリー》刑事である。2人とも世界の映画界に多大な影響を与えたワーナー映画自慢のスーパー・ヒーローだが、このたび、ワーナーではこの2人に、さらに同じサンフランシスコで大活躍した《おかしなおかしな大追跡》のあの爆笑コンビの持ち味を加えた3代目刑事が登場することになりました。その名も《フリービー》刑事と《ヒーン》刑事。名前もやることも変わっていますが、車の追っかけっこなら《ブリティッシュ》以上！ハデな銃撃戦なら《ダーティハリー》も真ツサオというニュースが本社より入っていますのでご期待下さい。

だからといってこの大傑作《ブリティッシュ》を見逃しちゃダメですよ。



★スチーブ・マックイーンとロバート・ポーン、ハリウッドの人気スターの競演で、話題となったのがこの作品だが、このコンビが再び競演することになりました。しかも、他にポール・ニューマン、フェイ・ダナウェイ、ウィリアム・ホールデン、フレッド・アステア、ジェニファー・ジョーンズ、ロバート・ワグナー、リチャード・チェンバレンと、まるで夢のような豪華スターも出演するというのですから嬉しくなります。その映画は《タワーリング・インフェルノ》地上135階建ての世界最大のビルが、その落成式の日ド真中から猛火に襲われるというスベクトル巨篇で、早くも75年最大の話題作として各方面から注目されている超大作です。

この作品はマックイーン自身が主宰するソーラ・プロの製作作品で、当時無名に近かったピーター・イエーツ監督を起用したこともマックイーンの大ヒットと言われる。イエーツはこの後「ジョンとメリー」「マーフィの戦い」「またまたおかしな大追跡」などの作品を手がけており、今やハリウッドの名監督の仲間入りを果たしている。製作は「フレンチ・コネクション」のフイリップ・ダントニ。音楽は「ダーティハリー」「燃えよドラゴン」のラロ・シフリンが担当している。

(上映時間——1時間54分)

■ストーリー

組織を裏切り200万ドルの金を持ち逃げしたシカゴのギャング、ジョニー・ロス(パット・レネラ)はある事件の証言台に立てば組織の殺し屋の手から身柄を保護してやるという少壮気鋭の政治家ウォルター・チャルマース(ロバート・ポーン)を頼ってサンフランシスコへやって来た。

チャルマースは、その裁判を政治的なチャンスにしようとしていたのだ。早速彼は、サンフランシスコ警察のベ

ネット刑事部長(サイモン・オークランド)にジョニーの護衛を要請した。護衛には敏腕で名高いフランク・ブリティッシュ刑事(スチーブ・マックイーン)と他に2名の刑事があてられた。

だが、ブリティッシュの油断からジョニーと護衛の若い刑事が、チャルマースの名を使って訪れた2人の男に射殺されてしまう。落度を責められたブリティッシュは野心家のチャルマースへの反感も手伝い、事件に執念を燃やした。ブリティッシュはジョニーがまだ生きているように見せかけ、敵をおびき出すことにした。案の定2人の殺し屋が罠にかかった。

凄まじいカー・チェイスの末にブリティッシュは殺し屋を片づけるが、さらに捜査を進めると、意外な事実が明るみに出てきた。殺されたジョニーは実はニセ物で、その妻もすでに殺されていたことがわかったのだ。ヨーロップ旅行をエサに本物に雇われていたのだ。

鋭い機転を働かせたブリティッシュは空港で、ヨーロップへ高飛びしようとしていた本物のジョニーをとらえた。息づまる大追撃の末、ついに空港ロビーでブリティッシュの執念の拳銃が火を吹いた。